

三浦市議会議員

いしざき 遊太

ゆうた



編集・発行 石崎 遊太 / 令和5年11月発行 / 三浦市南下浦町上宮田1422-4 / 080-4733-4115

初めての決算審査を終えて

令和5年第3回定例会においては、常任委員会での審議に加え、令和4年度の市の決算(一般会計、企業会計を含む特別会計)について、議会が審査を行う決算審査が行われました。各種決算資料の正確性についてはもちろん、予算執行が適切かつ効果的に行われたのかを議会として認定するという、非常に重要な機会です。三浦市においては、市議6人で構成される決算審査特別委員会が審査が行われます。私は今回、同委員会のメンバーではなかったため発言権がありませんでしたが、傍聴しながら決算認定の流れを掴みつつ、各施策の内容について理解を深めることに注力しました。資料も膨大で、審査の準備にはかなりの時間と労力を割かなければならないことがよくわかりました。引き続き精進してまいります。

2泊3日の自主研修に参加

10月10日～12日まで、滋賀県にある全国市町村国際文化研修所(JIAM)で行われた議員研修に参加してまいりました。議員個人としての完全な自主研修であり、移動や宿泊、食費を含めた研修費用は全て自己負担です。テーマは『人口減少社会における議会の役割』。内容はブログ(右下のQRコード参照)にもまとめていますが、本当に参加して良かったと思える、素晴らしい研修でした。

熱意溢れる多くの市町村議員にも出会えて、多くの刺激と勇気をもらいました。優秀な地方議員や首長が増えれば必ず日本は変えられるという思いが、あらためて確信に変わった気がします。



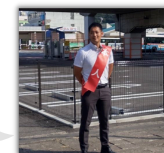
こんな取り組みを継続しています

“シェアオフィスTIME”
を設けています！



三浦海岸のBAYSIDE SHAREにて、週2回ほどの頻度でいつでもお話できる時間を設けています。曜日や時間は毎週変動するため、日曜日にSNSにて告知しております。

選挙後も毎週、
駅立ちを行っています！



毎週水曜日、朝7時～8時半ごろまで三浦海岸駅の駐車場付近に立ってご挨拶させていただいています。お気軽にお声がけください。※雨天時や議会日程によっては中止or延期

活動の振り返りを行い、
ブログで公開しています！



毎週日曜日には1週間の活動の振り返りを行っています。また、ご挨拶した方や相談を受けた内容をコンタクトシートにまとめ、毎月はじめに件数などを公開しています。

議場外での普段の活動こそ、
議員としての真価が問われる部分だと考えています！

みうらみらいラボ 会員募集中



みうらみらいラボは、代表であるいしざき遊太との対話を行いながら、会員同士で「三浦の今と未来について考え合う」ための政治団体です。詳細および入会のお申し込みにつきましては、左のQRコードのページをご確認ください。ご連絡いただければ紙の申込書もお届け可能です。



PROFILE -プロフィール-

いしざき 遊太

HP、各種SNSなどは
こちらからどうぞ！！
過去のみうラボReportも
HPにアップしています。



1991年4月生まれの32歳。幼馴染の妻とともに、0歳の娘の子育てに奮闘中。
上宮田小羊保育園→上宮田小学校→南下浦中学校→県立横須賀高校→慶應義塾大学総合政策学部卒。
2022年7月に約7年間勤めた大手食品メーカーを退職し、三浦市へUターン。地域活動に取り組む。
2023年4月の市議会議員選挙にて、1960票の得票を賜り当選。

質問の全体像

私が行った令和5年第3回定例会における一般質問の項目は、下記のとおりです。

- 1 子育て支援政策全般について
 - (1)子どもに関する市条例の制定に向けて
 - (2)幼保支援施策の現状と今後の取り組み
 - (3)学童の現状と課題認識
 - (4)移住促進における子育て支援体制
- 2 ポストGIGAスクール構想について
 - (1)推進状況と課題認識
 - (2)端末の活用強化
 - (3)校務支援システム
 - (4)端末の更新に向けて
- 3 市民協働施策について
 - (1)ニナITEの稼働状況
 - (2)地域の支え合い仕組みづくり事業
 - (3)三浦市区長会の運営状況
 - (4)二層協議体の取り組み
 - (5)市民交流拠点整備事業

質問や答弁の全文については、私が文字起こしたものをブログに掲載しております。長文で恐縮ですが、もしよろしければ下記QRコードからご覧いただくと幸いです。こちらの資料では実際の発言内容を掲載するのではなく、それぞれの項目について、私の質問の意図や要望の概要を文章で整理したいと思います。



こちらのQRコードより
発言全文をご覧になれます



いしざき 遼太 ブログ

子育て支援政策全般

今回の子育て支援政策についての質問では、シェアオフィスTIMEなどでお聞きした子育て世代の方々のご意見を踏まえながら、より具体的な提言まで踏み込みました。また、放課後児童クラブ（学童保育）については、市内にある全てのクラブを事前に見学させていただきました。お忙しい中で見学を快諾してくださった関係者の皆様に、あらためて御礼申し上げます。実際に子どもたちの表情を見て、支援員さんたちの生の声を聞いて、リアルなニーズを把握しながら質問と要望をまとめました。担当課の職員は本当によく働いてくれていると思います。実際に、他の自治体に先駆けた独自施策も少なくありません。しかし、それでも効果検証が足りない部分や、そもそも取り組めていない分野があることも事実です。子育て当事者の議員として、ここは一番こだわりをもっていきたい領域です。市民の皆様との日々の対話の中で、行政が気付いていない市民の声をしっかりと届けてまいります。

発言の中での主な要望

1. 子ども政策に関する独自条例の制定
2. 子どもの意見集約施策の早期実施
3. 予算措置を含めた保育士確保策の拡充
4. ファミサポにおける情報の見える化
5. 病後児保育ニーズへの対応
6. 保護者による学童運営の負担軽減策
7. 放課後児童クラブたんぽぽの移転対応
8. 移住ポータルサイトのブラッシュアップ



放課後児童クラブたんぽぽは、市内で唯一学校の敷地外での運営。最寄りの公園では手狭感が否めず、ボールを使った遊びもNGです。

ポストGIGAスクール構想

2019年12月に閣議決定されて以来、新型コロナウイルスの蔓延という予想外の外部要因もあり、急ピッチで進められたGIGAスクール構想。その軸となる『校内通信ネットワーク整備』と『児童・生徒1人1台端末の整備』について、三浦市においてもさまざまな苦労の中で実現された経緯があります。整備の完了から約2年半が経過したこのタイミングで、ICTの教育環境についてあらためて取り上げました。

現状の大きな課題は教員と児童をサポートするICT支援員の不足です。ただしこれは三浦市に限った話ではなく、全国の自治体での共通課題となっています。

個人的に特に気になっていたのが、端末の持ち帰り体制がまだ確立していないことでした。GIGAスクール構想が目指す学習の個別最適化という観点に立てば、端末を自宅に持ち帰って自由に使用できる選択肢もあるべきと考えます。ここに関しては、9月後半から端末の持ち帰りが徐々に始まっていく予定とのことで、動向を見守りたいと思います。実際に授業も見学しましたが、端末をそつなく使いこなす児童たちの姿には驚かされました。より充実したICT教育で、みうらっこたちの自由で主体的な学習姿勢が育まれることを願うばかりです。

発言の中での主な要望

1. ICT支援員の人材確保
2. 特別支援教育における効果的な端末活用
3. 主体的な学習のための端末持ち帰り制度
4. 家庭と公共スペースのWi-Fi環境整備
5. ICTを活用した校務支援システムの導入
6. 保護者とのコンタクトにおけるICT活用



皆様のご意見ご感想
お待ちしております！
お電話、メール、SNS、
どんなツールでも
ご連絡ください！

市民協働施策

議員になる前に市民活動を行っていたこともあり、市民と行政が力を合わせる『市民協働』の重要性は身をもって感じていました。特にベイシア2階の三浦市民交流センターニナITE（以下ニナITE）ができたことは、市民協働において大きな前進となったと思います。ニナITEの稼働状況と事業成果の確認を切り口に、市内の自治会組織である区長会の運営や第二層協議体、新たな市民交流拠点整備の方向性にまで質問の幅を広げました。

身の回りの問題から目を背けて、その責任を全て行政へ押し付けて、行政が何か与えてくれるのをただ待っているようなスタンスで生活が良くなる時代は、とくに終わっています。市民一人ひとりが主体的に動いて、課題解決に取り組まなければなりません（もちろんその中で、議員である私の役割と責任も大きくなってきます）。これは選挙期間中にも繰り返し述べていたことですが、その中で必要になるのが市民協働の理念と、それを後押しする施策だと考えています。簡単な話ではありませんが、これからのより良い地域づくりを考える上では、避けては通れない道なのではないでしょうか。

市議会議員として、そんな市民協働の流れを裏から支えられる、黒子のような存在になればと思います。

発言の中での主な要望

1. 市民活動に対する若年層の取り込み施策
2. 市民・地域と大学との関係強化
3. 区の魅力や区長会についてのSNS発信
4. 第二層協議体の継続&拡充
5. ニナITEと市民交流拠点の連携熟考
6. 図書館運営に対する市民の意見集約



本年2月にニナITEで実施された三浦市区長会主催の写真展。市内54区の魅力が詰まった、本当に素敵な企画でした。